

※文字の大きさは Meiryo UI /12 ポイント以上とし、行間・文字間、上下左右の余白は変更しないでください。  
 ※具体的に示したい図、写真、表、グラフなどは、(写真 1) (表 1) などと文中に記載し、右ページに(写真 1) (表 1) などと表記の上、貼り付けてください。  
 ※文章と図等を組み合わせながら作成することも可能です。各項目の枠の上下幅は変更可能です。  
 ※いずれの場合も、必ず A 3 片面 1 枚におさまるように作成してください。ファイルサイズは 5 MB 以下としてください。

※事務局記入欄  
 No. D-123

【様式 2】

<b>部門名：校内研修部門</b>	<b>エントリー名：下関市立安岡小学校</b>
<b>活動名：チームではばたけ！ ～個の力を全の力へ～</b>	
<b>解決すべき課題</b> 近年新規採用の先生が増えている。実際の学校現場では、授業だけではなく、学級経営、突発的な出来事への対処、各行事の運営、校務分掌など、様々な仕事があるため、先の見通しが立たずに困っている姿をよく目にする。しかし、2 年目からは、基本的には独り立ちをしていくようになる。	
<b>目標・方針</b> 若い先生の不安や困り感を少しでも払拭できるようにすること、また、次の世代に伝えていけることを少しでも多く身に付けられるようにすることを目指した。組織は、3 年目の先生を主として、2 年目、1 年目の先生で構成をし、喫緊の課題等について自由に話し合えるようにした。	
<b>活動内容</b> ・年間計画に基づき、1～3 年目の先生がお互いの事例を持ち寄って、話し合いや指導案検討、アドバイスをを行う。 ・より詳しく知りたい、また、自分たちではよくわからない等のことがあれば、中堅、ベテランの先生を講師として研修に呼び、指導を受ける。	
<b>活動の成果</b> ・若い先生にとっては、具体的な方法を教えてもらったり、アドバイスを受けたりすることで、先の見通しを持って仕事に取り組むことができるようになった。 ・中堅、ベテランの先生にとっては、自分の指導方法を見つめ直すよい機会になると同時に、高い志を持って、子どもたちと向き合う若い先生から多くのことを学ぶ機会にもなった。	
<b>アピールポイント（アイデアや工夫）</b> ・若い先生にとって、より実践的な研修が行える。 ・3 年目の先生が組織の主になることで、次のキャリアに向けたよい経験になる。 ・必要であれば中堅、ベテランの先生が講師として参加することで、個の力を全体に広げるよい機会になる。 ・若い先生の一生懸命な姿を見ることで、学校全体の雰囲気は活気付く。	

平成 30 年度 1 年間の計画				
1 学期	5月10日 学級活動について 学期はじめに大切なことを出し合い、アイデアを共有	5月31日 AFPY AFPY 便りをもとに、クラスでできそうなことを実践	6月28日 フリートーク フリートークの進め方やテーマについて話し合う	7月19日 1 学期の反省 1 学期を振り返っての課題を出し合い、改善策を話し合う
2 学期	9月27日 図工（感想画） 感想画の構成の仕方 や色の塗り方	10月25日 生徒指導（学級経営） いじめ、不登校、問題行動への対応の仕方	11月22日 算数 分数の足し算、引き算の指導方法	12月20日 図工（版画） 下書きの構図や版の削り方
3 学期	1月31日 体育 ゴール型ゲームの進め方やチーム分けについて	2月28日 外国語 外国語活動の進め方とクラスルームイングリッシュ	3月14日 1 年間の反省 各学年の特徴や声かけの仕方を共有	

年度ごとに、3 年目の先生が主になることで前年度の振り返りが生かされた運営がされるとともに、年度ごとにカラーが出た。

平成 30 年度は、学級づくり、授業づくりをバランスよく研修した。月に 1 回としたことにより、無理なく研修を進めることができた。

平成 29 年度 1 年間の計画						
1 学期	4月11日 1 年間の流れ 行事と事務処理の確認	4月25日 指導案の書き方 略案、板書型指導案、総案	5月9日 生活科 指導方法と評価について	5月23日 音楽科 リコーダーと鍵盤ハーモニカの指導方法	6月6日 親睦タイム バトミントン	6月20日 ICT 情報機器の使用法
2 学期	9月5日 運動会 当日の動きや各種目、係の確認	9月19日 QUテスト 結果の見方と学級経営への生かし方	10月3日 図工 感想画の指導方法と実践	10月17日 家庭科 ミシン実習と調理実習	11月7日 国語科 指導方法と評価の仕方	11月21日 外国語活動 指導方法と評価の仕方
3 学期	1月16日 図工 版画の指導方法	1月30日 体育科 マット運動と跳び箱の指導	2月13日 要録について 評価の仕方	2月27日 要録について 要録の書き方	3月13日 1 年間の振り返り	

平成 29 年度は、前年度の振り返りから、様々な教科について研修が行われた。技能教科についての指導方法を知ることができたのは、大変役に立った。振り返りでは、詰め込みすぎた感があるという意見があった。

平成 28 年度 1 年間の計画	
1 学期	国語科授業での「発問の仕方」と各学年で獲得させたい「書く力」 ・「発問の仕方」 児童にいかに関心を生む発問をするかという視点のもと研修を進める。その週に行った黒板の写真をお互いに撮り、「こんな発問をしたらこのような流れになった。」と検討を重ねる。 ・「書く力」 「視写」「ノート」「作文身体」「作文技能」「論理的思考力」のそれぞれについて、各学年段階でどのぐらいの力が必要か具体的に系統表に表して確認をする。実践したノートを持ち寄り、検討を重ねる。
2 学期	読みの深さとアクティブ・ラーニング ・学びのサイクル 問題意識の醸成（発問）→内化（知識の獲得）→外化（習得した知識の活用） →振り返り（知識や方略のよさの実感）→学習の転移 を意識した授業実践を持ち寄り、検討を重ねる。 ・読みの深さ 根拠（本文からの引用）と理由（自分なりの考え）を分けて考えられるようにすることで、本文を客観的に捉えながら、自分の考えを持てるようにする。
3 学期	授業実践 1 学期、2 学期で学んだことを公開授業で広める。そのために、指導案を検討したり、お互いに授業を参観したりする。 1 年間で学んだことを自分たちのまとめとして、全職員に向けてプレゼンテーションする。

平成 28 年度は、国語科の授業づくりに特化した研修を行った。国語科の授業づくりの工夫は、他の教科でも生かされた。しかし、他のことについても知りたいという声があった。